授業スケジュール

作成日：2020年4月1日
作成者：甲斐　奈津代

科目名	業界研究Ⅱ					担当者	甲斐　奈津代	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース	単位数・時間数	2単位	30時間

コマ数	授業項目	変更点	詳細	教材
1	就職環境を知る		・導入10分 ・就職環境について80分	
2	自己分析		・導入10分 ・自己分析80分	
3	キャリアプランニング		・導入10分 ・キャリアについて80分	
4	就職支援サイトの活用		・導入10分 ・サイト登録について80分	
5	職種・業界研究		・導入10分 ・職種、業種のリサーチ80分	
6	エントリーシートについて		・導入10分 ・エントリーシートの記述について80分	
7	求職票の書き方		・導入10分 ・求職票の下書き80分	
8	求職票面接の練習		・導入10分 ・面接の流れについて80分	
9	履歴書の記入方法(経歴)		・導入10分 ・履歴書の下書き80分	
10	履歴書の記入方法(自己PR)		・導入10分 ・履歴書の下書き80分	
11	企業研究アプローチ		・導入10分 ・企業理解を深める80分	
12	学校求人の理解		・導入10分 ・学校求人の特徴について80分	
13	作文教室		・導入10分 ・作文作成80分	
14	面接試験対策(入退室・自己紹介)		・導入10分 ・面接練習80分	
15	面接試験対策(質疑応答)		・導入10分 ・面接練習80分	
16				

授業報告

※実績を表示する際は、A3で出力してください

実施日	実施内容		担任への報告
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		

授業スケジュール

作成日：2020年4月1日
作成者：甲斐　奈津代

科目名	業界研究Ⅱ					担当者	甲斐　奈津代	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース	単位数・時間数	2単位	30時間

コマ数	授業項目	変更点	詳細	教材
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				

授業報告

※実績を表示する際は、A3で出力してください

実施日	実施内容		担任への報告
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		
	予定通り		

授業スケジュール

作成日：2020年4月1日
作成者：甲斐　奈津代

科目名	業界研究Ⅱ					担当者	甲斐　奈津代	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース	単位数・時間数	2単位	30時間

コマ数	授業項目	変更点	詳細	教材
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				

授業報告

※実績を表示する際は、A3で出力してください

実施日	実施内容		担任への報告
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		

授業スケジュール

作成日：2020年4月1日
作成者：甲斐　奈津代

科目名	業界研究Ⅱ					担当者	甲斐　奈津代	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース	単位数・時間数	2単位	30時間

コマ数	授業項目	変更点	詳細	教材
55				
56				
57				
58				
59				
60				

授業報告

※実績を表示する際は、A3で出力してください

実施日	実施内容		担任への報告
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		
	☐ 予定通り		

科目名	デジタルデザインⅡ				
科目名(英)	Digital design Ⅱ				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	林　喜知
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員担当科目	イラストレーターとして活動
対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース1年				
授業概要	Illustratorを使用してのコンテスト用、ポートフォリオ用の作品制作を行う				

授業形式	講義：	演習：　○	実習：	実技：	※ 主たる方法: ○　その他: △	

達成目標	知識	技能	態度	その他	目標
	○	○			ツールを使用し、作品として成立する作品が作れるようになる。
	○	○			ツールの基礎知識の習得から応用まで行うことができ、自由に制作を行う事ができる。

テキスト・教材 参考図書	オリジナル教材スライド 使用ツールAdobe Illustrator

授業計画	授業項目・内容	授業外学修指示
	1-2.ライブペイントツールの基本操作・アートワーク制作演習	前時の授業内容・ツールの操作方法を復習しておくこと
	3-4.変形・合成・特殊効果について・アートワーク制作演習	授業内容・ツールの操作方法を復習しておくこと
	5-8.作品制作実習（1）| テーマに沿ったデザイン制作課題	課題①
	9-10.文字の基本操作とルビ加工テクニックについて・アートワーク制作演習	授業内容・ツールの操作方法を復習しておくこと
	11-14.作品制作実習（2）| テーマに沿ったデザイン制作課題	課題②
	15-16.デザインの模索期について・アートワーク制作演習	授業内容・ツールの操作方法を復習しておくこと

評価方法						
(サンプル:①練習問題と課題により、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)で評価を行う。 ②未提出の場合は、その課題を評価なしの点とする。 ③最終評価は、3つの評価課題の平均値により判定を行う。						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験						
かテスト		○	◎	○		30%
宿題・レポート						
発表・作品		○	◎	○		50%
授業態度				◎		20.0%

履修上の注意	

→ 科目名を記入します。学科と相違がないように確認してください。

→ 科目名(英)を記入してください。

→ 単位数、時間数、科目を指導する教員の名前を記入してください。単位数・時間数は学則と相違がないように確認してください。

→ 実施される年度、時期(前期・後期・通年)を記入してください。実務家教員の担当科目には「○」を記入してください。

→ 対象となるクラスを記入してください。複数の場合は該当(文字)・を使用してください。

→ 授業科目の概要を記入してください。(カリキュラム上の位置付け・主な学習項目など)

→ 該当する授業形式に○を記入してください。複数の形式を採用する場合は、主たる方法に○、その他に△を記入してください。(職業実践専門課程の様式4(3)と一致させる)

→ 授業科目の到達目標を分かりやすく記入してください。GP/CPとの対応関係を到達目標として反映させてください。
「思考情報」/「知的技能」/「運動技能」/「態度」の4分類のどの分類に該当する目標なのかを選び、○を記入してください。

→ 教科書

→ 授業で取り扱う内容を各回ごとに記入してください。
授業のテーマを複数にわたり扱う場合は、「○○○○①」/「○○○○②」のように記載するのではなく、
例えば、「○○○○①　△△△、×××」/「○○○○②　□□□、◇◇◇」のように、回数ごとに扱うテーマのキーワード等を記入してください。
授業の性格上、回ごとに分けることが困難な場合でも、授業内容の大まかな順序が分かるよう、可能な範囲で具体的に記入してください。
複数教員で分担して担当する場合は、該当回の担当教員名を括弧書きで記入してください。

→ 評価の方法を具体的に記入してください。定期試験については、筆記試験・口述試験・実技試験など実施方法を記入してください。
学習目標・到達目標で選択した分類「言語情報」/「知的技能」/「運動技能」/「態度」に対応させ、ひとつは○を記入してください。

→ 上記以外で受講者に伝えることがある際には記入してください。

科目名	デッサン演習基礎Ⅱ				
科目名(英)	Drawing Learning Basic Ⅱ				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	松尾　恭子
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース1年				
授業概要	モチーフを各自で選択肢、精密度の高い作品や、デザイン性の高い作品を制作していく。着彩希望者は色鉛筆・水彩・コピックなど自由に使用可。4コマで1作品。モチーフの難易度によって時間設定。制限した時間の中で仕上げて提出は厳守。 個人別に描きかたの解説・指導。参考作品の提示。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標(到達目標)

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○			デッサンを繰り返す事により構成・質感の表現力を向上させる事ができる。
	○	○			構図を考え画面の構成力を身につけ描画構成を行う事ができる。
		◯			集中力を身につけ、期限内に作品を仕上げて提出する事ができる。

テキスト・教材 参考図書

デッサンモチーフ、鉛筆、ケント紙。

授業計画

	授業項目・内容	授業外学修指示
	1-3.「人」デッサン・模写/ 描き方・バランス・立体感	
	4.「人」デッサン・顔/頭部のバランス	
	5-7.「人物」全身/人体のバランス	
	8.「人物」全身/仕上げ	
	9-10.「木」模写/質感・立体感	
	12-13.木のデッサン・野外スケッチ	
	14-15.木のデッサン・野外スケッチ/仕上げ	
	16-17.構成デッサン/「複数モチーフ・自然物」同一平面・構図・形	
	18.構成デッサン/仕上げ	
	19-21.構成デッサン「複数モチーフ・製品」同一平明・構図・形	
	22.構成デッサン/仕上げ	
	23-25.構成デッサン「複数モチーフ・メカ物」質感・構成力	
	26.構成デッサン/仕上げ	
	27-29.構成デッサン「人のいる空間・風景」構成力	
	30.構成デッサン/仕上げ	

評価方法

①単元毎に描写した用紙を回収し、課題ごとのテーマの完成度により、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)で評価を行う。
②未提出の場合は、その課題を評価なし(0点)とする。
③最終評価は、全ての課題の平均値により判定を行う。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験						
小テスト						
宿題・レポート						
課題提出		◯	◎	○		100%

履修上の注意

課題は時間内に仕上げて提出する。仕上がっていないものは評価点をつけない。

図番	図面表題 B						
製図法	第三角法(JIS)に準ずる						
図面	縮尺		図番	1/2	図番	図名	表紙・裏紙
製図年月日	平成19年	製図者	山田	検図者	佐藤	承認者	鈴木
図面の内容	表紙・裏紙						
使用部品	表紙：ボール紙 ／ 裏紙：ボール紙 ／ 接着剤：ボンド ／ 表紙固定用ピン：ステンレス製 ／ 裏紙固定用ピン：ステンレス製 ／ 表紙固定用ピン：ステンレス製 ／ 裏紙固定用ピン：ステンレス製						
使用工具	定規	鉛筆	消しゴム	筆記具	電卓	定規	鉛筆
作業手順	1	表紙の裏面に接着剤を塗布する。					
	2	表紙を裏紙に貼り合わせる。					
	3	表紙・裏紙の四隅を、ステンレス製の固定用ピンで仮固定する。					
	4	表紙・裏紙の四隅を、ステンレス製の固定用ピンで本固定する。					
	5	表紙・裏紙の四隅を、ステンレス製の固定用ピンを取外す。					
特記事項	表紙・裏紙の四隅を、ステンレス製の固定用ピンで固定する。						
変更履歴	変更年月日	変更内容					
参考資料	1	平成19年度版					
	2	平成20年度版					
	3	平成21年度版					
	4	平成22年度版					
	5	平成23年度版					
	6	平成24年度版					
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
参考資料	図面番号：表紙 ／ 図面表題：表紙 ／ 図面番号：裏紙 ／ 図面表題：裏紙						
	図面番号	図面表題	図面番号	図面表題	図面番号	図面表題	図面番号	図面表題
	表紙	表紙						
	裏紙	裏紙						
参考資料								

- 図面の表紙と裏紙は、接着剤で貼り合わせる。
- 図面の表紙と裏紙は、ボール紙を使用する。
- 図面の表紙・裏紙の四隅は、ステンレス製の固定用ピンで仮固定する。表紙・裏紙の四隅は、ステンレス製の固定用ピンで本固定する。
- 図面の表紙・裏紙の四隅は、ステンレス製の固定用ピンを取外す。
- 図面の表紙・裏紙の四隅は、ステンレス製の固定用ピンで固定する。
- 図面の表紙・裏紙の四隅は、ステンレス製の固定用ピンを使用

科目名	人体Ⅱ				
科目名(英)	Human body expression　Ⅱ				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岩村　剛士／甲斐　奈津代
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース1年				
授業概要	人体構造を学び、イラストレーションの表現の幅を広げることを目的とする。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○			仕上がりイメージを意識したポーズデザインをデザインする事ができる。
	○	○			構図の中にキャラを配置しても違和感のないような立体感の表現ができる。
		○	○		課題提出により、積極的に自分の技術を上げるための努力をすることができる。

テキスト・教材 参考図書: なし

授業計画

	授業項目・内容	授業外学修指示
	1-6.キャラクターデザイン①　個別添削	
	7-8.キャラクターイラストのベース作成①	課題①
	9-10.構図制作①キャラクターイラストの構図を作成する	
	11-12.構図制作②ラフデザインを起こし、イラストレーションを制作する	課題②
	13-14.イラスト制作①線画でのイラストレーション制作を行う	課題③
	15-16.キャラクターデザイン④オリジナルキャラクターの作成する	
	17-18.キャラクターデザイン⑤ポーズデッサンする	
	19-20.キャラクターデザイン⑥表情のバリエーションを作成する	
	21-22.キャラクターイラストのベース作成②	課題④
	23-24.構図制作③キャラクターイラストの構図を作成する	
	25-26.構図制作④ラフデザインを起こし、イラストレーションを作成する	課題⑤
	27-29.イラスト制作②線画でのイラストレーション制作を行う	課題⑥
	30.講評	

評価方法

①課題ごとのテーマの完成度により、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)で評価を行う。
②未提出の場合は、その課題を評価なし(0点)とする。
③最終評価は、全ての課題の平均値により判定を行う。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験						
小テスト						
宿題・レポート						
課題提出		◯	◎	○		80%
授業態度、意欲(提出率)				○		20%

履修上の注意

科目名	イラストテクニック基礎Ⅲ				
科目名(英)	Illustration Technique Basic Ⅲ				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	山下　愛里彩
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	マンガ家歴2年
対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース1年				
授業概要	自らの絵柄で、様々な年代のキャラクターを描く。また動物や架空生物等の描き方に触れていく。就職用ポートフォリオを意識し、より丁寧で洗練された作品を制作する。(アナログ/デジタル)				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標(到達目標)

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○				子供から年配までの年齢操作を自分の絵柄で表現することができる。
	○	○			目指す絵柄を確定させ、絵柄に安定感を持たせることができる。
	○		○		グループで一つの目標を達成することでコミュニケーション能力を高めることができる。

テキスト・教材 参考図書

授業計画

	授業項目・内容	授業外学修指示
	1-3.年齢による骨格の成長、アジア・欧米人の顔の違い	後期の課題は全てオリジナルキャラクターを描いてもらうので授業前にアイデアを出しておくと楽です。
	4-7.作品制作課題①【女性キャラ・少年期・青年期・壮年期】	課題①
	8-14.作品制作課題①/仕上げ	
	15-18.作品制作課題②【男性キャラ・少年期・青年期・壮年期】	課題②
	19-22.作品制作課題②/仕上げ	
	23-25.ゲームやマンガによく出てくる動物の身体の構造	
	26-28.作品制作課題③/【好きな動物×ファンタジー】	課題③
	29-31.作品制作課題③/仕上げ	
	32-39.グループ作品制作課題④/【オリジナルRPGゲームイラスト】	課題④グループでの制作。
	40-44.グループ作品制作課題④/仕上げ	
	45.課題講評	

評価方法

①課題ごとのテーマの完成度により、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)で評価を行う。
③最終評価は、全ての課題の平均値により判定を行う。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
出席				◎		50%
課題			◎	○		50%

履修上の注意

科目名	イラストテクニック基礎Ⅳ				
科目名(英)	Illustration Technique Basic Ⅳ				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	尾畑　由香
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	イラストレーターとして活動
対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース1年				
授業概要	企画～作品制作を行う。チームでの制作を想定したワーク形式				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○			チームワークを活かした作品制作ができる。
	○	○			他者目線、需要を反映し、作品のクオリティアップを行う事ができる。(世界観設定、画力)

テキスト・教材 参考図書	なし

授業計画

	授業項目・内容	授業外学修指示
	1-3.テーマ発表/チーム決め	
	4-11.作品制作1/進捗確認	課題①
	12-14.作品制作1/仕上げ	
	15-21.テーマ発表/チーム決め	課題②
	22-28.作品制作2/仕上げ	
	29-30.課題講評	

評価方法

①課題ごとのテーマの完成度により、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)で評価を行う。
③最終評価は、全ての課題の平均値により判定を行う。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
出席率				◎		50%
課題提出		○	◎	○		50%

履修上の注意	

科目名	ポートフォリオ				
科目名(英)	Portfolio				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	林　亘如
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員担当科目	イラストレーターとして活動
対象学科・学年	マンガ・イラスト・CG科イラストコース1年				
授業概要	Illustratorを使用してのコンテスト用、ポートフォリオ用の作品制作を行う				

授業形式	講義:		演習:	○	実習:		実技:	※ 主たる方法:○　その他:△

	知識	技術	態度	評価	目標
学習目標 (到達目標)	○	○			ツールを使用し、作品として成立する作品が作れるようになる。
	○	○			ツールの基礎知識の習得から応用まで行うことができ、自由に制作を行う事ができる。

テキスト・教材 参考図書	オリジナル教材スライド 使用ツールAdobe Illustrator

		授業項目・内容	授業外学修指示
授業計画		1-2ライブペイントツールの基本操作・アートワーク制作演習	前期の授業内容・ツールの操作方法を復習しておくこと
		3-4変形・合成・特殊効果について・アートワーク制作演習	授業内容・ツールの操作方法を復習しておくこと
		5-8作品制作実習(1)｜テーマに沿ったデザイン制作課題	課題①
		9-10文字の基本操作と応用テクニックについて・アートワーク制作演習	授業内容・ツールの操作方法を復習しておくこと
		11-14作品制作実習(2)｜テーマに沿ったデザイン制作課題	課題②
		15-16デザインの模倣間について・アートワーク制作演習	授業内容・ツールの操作方法を復習しておくこと
		17-22作品制作実習(3)｜テーマに沿ったデザイン制作課題	課題③
		23-28作品制作実習(4)｜テーマに沿ったデザイン制作課題	課題④
		29-30課題講評・期末まとめ	

評価方法	(1)授業内でアートワーク制作(小テスト)を数回実施する。(2)作品制作実習を4回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技術	運動技術	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験						
小テスト(アートワーク制作)		○	○			40%
宿題・レポート						
発表・作品(作品制作実習)		○	◎			60.0%

履修上の注意	

→ 科目名を記入します。学期と間違がないように確認してください。

→ 伝達で記入してください。

→ 単位数、時間数、科目を指導する教員の名前を記入してください。単位数・時間数は学期と間違がないように確認してください。

→ 実施される年度、時期(前期・後期・通年)を記入してください。実務家教員の担当科目には「○」を記入してください。

→ 対象となるクラスを記入してください。複数の場合は改切り文字「/」を使用してください。

→ 授業科目の概要を記入してください。(カリキュラム上の位置付け・主な学習項目など)

→ 該当する授業形式に○を記入してください。複数の形式を併用する場合は、主たる方法に○、その他に△を記入してください。(職業実践専門課程の様式4(3)と一致させる)

→ 授業科目の到達目標を分かりやすく記入してください。DP・CPとの対応関係を到達目標として反映させてください。
「言語情報」/「知的技術」/「運動技術」/「態度」の4分類のどの分類に該当する目標なのかを選び、○を記入してください。

→ 使用

→ 授業で取り扱う内容を各回ごとに記入してください。
同様のテーマを複数にわたり扱う場合は、「○○○○①」/「○○○○②」のように記載するのではなく、
例えば、「○○○○①　△△△、××××」/「○○○○②　□□□、◇◇◇」のように、回数ごとに扱うテーマのキーワード等を記入してください。
授業の性格上、回ごとに分けることが困難な場合でも、授業内容の大まかな順序が分かるよう、可能な範囲で具体的に記入してください。
復習教員で分担して担当する場合は、該当回の担当教員名を括弧書きで記入してください。

→ 評価の方法を具体的に記入してください。定期試験については、筆記試験・口述試験・実技試験など実施方法を記入してください。
学習目標(到達目標)で選択した分類「言語情報」/「知的技能」/「運動技能」/「態度」に対応させ、ゆきたりなくを記入してください。

→ 上記以外で受講者に伝えることがある際には記入してください。